

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	C017	行事名	ICT東京フォーラム2021	
行事形式	ICTセミナー	主催団体	ICT東京フォーラム実行委員会	
開催日	10月24日(日) 14:00～17:15		開催場所	オンライン開催 (Zoom Webinar使用)
行事参加者数	122名		WebサイトURL	<a href="https://www.uec.ac.jp/news/event/2021/20210928_3725.html">https://www.uec.ac.jp/news/event/2021/20210928_3725.html</a>

## 行事実施概要・アピール等

新型コロナウイルス禍により、行政・経済・教育のデジタル化・オンライン化の遅れが顕在化する一方で、デジタル社会に向けての課題も浮き彫りになっており、このフォーラムでは、デジタル化に向けた地域社会の課題を把握し、解決策を模索することを目的に開催した。

主催者であるICT東京フォーラム2021実行委員会の土屋秀亮電通大教授の開会挨拶、総務省関東総合通信局の小笠原陽一局長による来賓挨拶(総務省の施策紹介を含む)と調布市の長友貴樹市長の来賓挨拶に続いて、東京都副知事の宮坂学氏による『東京都のデジタル化への取り組み』と題する基調講演、およびIPAセキュリティセンター長の瓜生和久氏による『サイバーセキュリティの脅威とそれらへの対処』と題する講演が行われた。

その後、事例紹介として調布市立若葉小学校主幹教諭の飯田 哲也氏から『教育現場における現状と課題』についての発表、およびソフトバンク株式会社の阿部巧氏から『巧妙化するフィッシング詐欺。被害を減らす方法とは』と題する発表が行われた。

これらを受けて、ヤフー株式会社プロデューサーの久保田紀之氏がモデレーターとなり、講演者、事例発表者および調布市長がパネリストとなりパネル討論が行われた。小学校でのGIGAスクールの開始に伴う課題・要望などの討論、地方行政のデジタル化について東京都で進められているデジタル改革の現状と課題、調布市で進められているデジタル化の取り組みと課題についての話題、デジタル化を進める上で問題となる情報セキュリティについてマイナンバーカードを事例としてチャンスとリスクという観点からの討論、および質問への回答が行われた。

最後に、関東ICT推進NPO連絡協議会代表幹事の三木哲也氏から閉会挨拶があり、フォーラムは盛会裏に終了した。

このフォーラムは、非常に時機を得たテーマ設定であったことから募集定員を大幅に超える122名の参加者があり、事後のアンケートでも講演、事例発表、パネル討論共に約80%の高評価が得られ、フォーラム全般に対しては「大いに満足」または「満足」と回答した参加者は92%であった。意見の中には、同様のテーマで次回も開催して欲しいという要望が目立った。なお、収録された講演、事例発表、パネル討論の映像は、オンデマンドにて視聴できるようにWeb公開している。

